



## 平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社メディネット

上場取引所 東

コード番号 2370 URL <http://www.medinet-inc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原 大輔

TEL 045-478-0041

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	526	1.9	△287	—	△272	—	△282	—
25年9月期第1四半期	517	△4.8	△176	—	△139	—	△141	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △463百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△323.64	—
25年9月期第1四半期	△192.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年9月期第1四半期	11,959	—	10,350	—	86.4	—
25年9月期	12,242	—	10,369	—	84.6	—

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 10,334百万円 25年9月期 10,360百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,270	7.6	△965	—	△965	—	△975	—	△11.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・当社は第2四半期連結累計期間の業績予想を行っておりません。

・平成26年9月期の業績予想における1株当たり当期純損失については、平成26年4月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純損失は、△1,106円73銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	883,331 株	25年9月期	873,331 株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	— 株	25年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	873,983 株	25年9月期1Q	732,755 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- ・決算補足説明資料は本日平成26年2月5日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

現在、我が国においては、バイオテクノロジー及び先端医療に係る各種の推進政策が実施されており、なかでも再生医療の実用化を促す再生医療推進法（「再生医療を国民が迅速かつ安全に受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律」）が平成25年4月に成立したこと、また、細胞加工業を認める「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び再生・細胞治療を実施するための再生医療等製品を規定した「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が平成25年11月に成立したことにより、当社グループを取り巻く事業環境が大きく変わろうとしています。そのような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）において当社グループは、現在の主力事業である免疫細胞療法総合支援サービスから細胞加工業へ事業転換を図るべく社内体制及び営業施策の再構築を行うとともに、当社グループが行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の開発、製造、販売を実現するべく、新たな事業展開に向けた取り組みを強化しております。

売上高については、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前第1四半期連結累計期間に比べて増加したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は526,769千円（前年同期比9,740千円増、1.9%増）となりました。

研究開発活動については、当社グループの新たな事業である細胞医療製品の製造販売承認の獲得を目指した研究開発を加速しております。当第1四半期連結累計期間では、平成25年12月に、転移性腎細胞がんを対象とする細胞医療製品「AGS-003」を開発する米国Argos Therapeutics社との間でライセンス契約を締結し、日本国内での「AGS-003」の開発及び製造の独占的許諾を獲得し、それに伴い一時金を支出しております。この「AGS-003」の開発パイプライン獲得に係る研究開発費等により当第1四半期連結累計期間の研究開発費は、前第1四半期連結累計期間に比べて88,795千円(75.8%)増加しております。なお、これまでの研究開発活動の成果の一環として、当第1四半期連結累計期間において以下の特許が成立しております。

#### ● 「抗原提示細胞の活性化処理方法」

欧州11カ国、オーストラリア、日本に加えて米国を追加

新たな事業展開に向けた取り組みの中で既存事業に係る営業活動については一層の効率化を図っていることから、当第1四半期連結累計期間の販売費については、前第1四半期連結累計期間に比べて10,932千円(13.6%)減少しております。また、前述の平成25年11月に成立した2つの法律の施行に向けて、細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための戦略的投資等により、一般管理費については、前第1四半期連結累計期間に比べて56,249千円(25.5%)増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は551,878千円（前年同期比134,112千円増、32.1%増）となり、営業損失は287,269千円（前年同期は営業損失176,787千円）となりました。

その他、外貨建て投資有価証券の円換算等による為替差益16,687千円等の営業外損益により、当第1四半期連結累計期間の経常損失は272,936千円（前年同期は経常損失139,029千円）となりました。

また、保有する投資有価証券の評価を見直したことに伴う投資有価証券評価損7,100千円を計上したこと等から、四半期純損失は282,859千円（前年同期は四半期純損失141,231千円）となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントの区分は従来単一セグメントとしておりましたが、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が成立したことを受け、従来事業の中核をなしていた免疫細胞療法総合支援サービスから細胞加工業への転換、及び細胞医療製品の開発といった新たな事業への展開を図ることの重要性が高まったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「細胞加工業」及び「細胞医療製品事業」の2区分に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更したため、各報告セグメントの前年同期との比較は記載しておりません。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

#### ①細胞加工業

細胞加工業については、当面は、細胞加工業への移行を検討している免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっており、当第1四半期連結累計期間においては、既存契約医療機関に対するサービス売上に大きな変動はないものの、技術開発投資の適正化や営業活動の効率化による営業費用の削減効果等により、売上高は526,154千円、セグメント利益は86,457千円となりました。

## ②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果をもとに細胞医療製品の開発に向けた研究開発活動に取り組んでおり、日本国内においては、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同臨床研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探索しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の臨床研究にも注目しており、それらのパイプラインの獲得も視野に入れた活動を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、米国Argos Therapeutics社が開発を進めている転移性腎細胞がんを対象とする細胞医療製品「AGS-003」の日本国内における開発、製造権を獲得するための契約一時金による研究開発費が発生いたしました。当細胞医療製品事業は、現在は研究開発投資が先行している状況ですが、収益としては、細胞医療製品の可能性の評価を行うため、免疫細胞治療に係る先進医療を実施している契約医療機関に対して免疫細胞療法総合支援サービスを提供し、サービス売上を計上しております。以上の結果、売上高は614千円、セグメント損失は251,782千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて282,701千円減少し、11,959,585千円となりました。流動資産は7,482,876千円と前連結会計年度末に比べ947,030千円減少しており、主な要因は現金及び預金の減少1,238,070千円、有価証券の増加300,041千円です。固定資産は4,476,709千円と前連結会計年度末に比べ664,329千円増加しており、主な要因は投資有価証券の減少269,668千円及び長期貸付金の増加948,600千円によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて263,844千円減少し、1,608,871千円となりました。そのうち流動負債は1,106,992千円で前連結会計年度末に比べて174,241千円減少しております。主な要因は買掛金の減少60,922千円、未払法人税等の減少21,067千円、賞与引当金の減少40,328千円及び資産除去債務の減少36,000千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて89,603千円減少し、501,879千円となりました。主な要因は固定負債その他に含まれる繰延税金負債の減少100,016千円です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失282,859千円、第三者割当増資による資本金及び資本準備金の増加436,950千円、その他有価証券評価差額金の減少180,635千円等により前連結会計年度末に比べて18,856千円減少し、10,350,714千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.6%から86.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、再生・細胞医療の産業化が国家戦略として取り上げられ、新たな規制や法的枠組みが整備される環境変化を捉え、現在の主力事業である免疫細胞療法総合支援サービスから「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」において認定された細胞加工業への事業転換を図る事により収益の拡大を図るとともに、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に規定される再生医療等製品の製造販売承認を獲得し、将来的な細胞医療製品の開発を目指すことを目的とした臨床エビデンスの構築を推進する事を通じて新規技術の早期実用化及び新規事業の早期実現を図ってまいります。

なお、連結業績予想は平成25年11月6日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社メドセルを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,081,225	843,155
売掛金	361,346	348,536
有価証券	5,599,765	5,899,807
原材料及び貯蔵品	114,124	114,490
その他	273,444	276,886
流動資産合計	8,429,906	7,482,876
固定資産		
有形固定資産	447,088	450,413
無形固定資産	256,710	253,196
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,680	1,398,011
長期貸付金	630,000	1,578,600
長期前払費用	651,079	630,117
その他	159,820	166,370
投資その他の資産合計	3,108,580	3,773,099
固定資産合計	3,812,379	4,476,709
資産合計	12,242,286	11,959,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	130,586	69,664
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	32,194	11,127
賞与引当金	76,514	36,185
資産除去債務	36,000	—
その他	205,938	190,014
流動負債合計	1,281,233	1,106,992
固定負債		
資産除去債務	70,677	70,998
その他	520,804	430,880
固定負債合計	591,482	501,879
負債合計	1,872,716	1,608,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,157,286	6,375,761
資本剰余金	7,569,846	7,788,321
利益剰余金	△4,218,339	△4,501,199
株主資本合計	9,508,793	9,662,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	852,076	671,441
その他の包括利益累計額合計	852,076	671,441
新株予約権	8,700	16,389
純資産合計	10,369,570	10,350,714
負債純資産合計	12,242,286	11,959,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	517,028	526,769
売上原価	276,049	262,160
売上総利益	240,978	264,608
販売費及び一般管理費	417,765	551,878
営業損失(△)	△176,787	△287,269
営業外収益		
受取利息	4,793	5,529
為替差益	32,768	16,687
その他	2,331	2,233
営業外収益合計	39,893	24,450
営業外費用		
支払利息	1,746	1,667
株式交付費	—	2,794
社債発行費等	—	4,038
設備賃貸費用	304	1,531
その他	84	84
営業外費用合計	2,135	10,117
経常損失(△)	△139,029	△272,936
特別損失		
固定資産除却損	—	554
投資有価証券評価損	—	7,100
特別損失合計	—	7,654
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,029	△280,590
法人税、住民税及び事業税	2,358	2,431
法人税等調整額	△156	△162
法人税等合計	2,202	2,269
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△141,231	△282,859
四半期純損失(△)	△141,231	△282,859

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△141,231	△282,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151,447	△180,635
その他の包括利益合計	151,447	△180,635
四半期包括利益	10,215	△463,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,215	△463,495
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月26日付で、ドイツ銀行ロンドン支店及び株式会社夢テクノロジーから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が218,475千円、資本剰余金が218,475千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が6,375,761千円、資本剰余金が7,788,321千円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

当社グループは、細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務の単一事業であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	526,154	614	526,769	—	526,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	526,154	614	526,769	—	526,769
セグメント利益又は損失 (△)	86,457	△251,782	△165,324	△121,945	△287,269

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△121,945千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、セグメント情報における報告セグメントは「細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務」の単一セグメントでありましたが、平成25年11月「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が成立した事に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「細胞医療支援事業並びにこれらに付帯する業務」から「細胞加工業」及び「細胞医療製品事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、必要な財務情報を遡って作成する事が実務上困難であるため、開示を行っておりません。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は単一セグメントであることから、前第1四半期連結累計期間の区分方法により作成した当第1四半期連結累計期間のセグメント情報は省略しております。